

2021 令和 3 年度  
東京都ソフトボール協会  
記録員伝達講習会

令和 4 年 3 月 5 日(土)6 日(日)  
ZOOM による WEB 伝達



## 2022 オフィシャル ソフトボール ルール 改正

### P36 3-4項 靴 (シューズ)

#### 【改正点】

3-4項3、並びに3-4項3(注2)に「セラミック製スパイク」を追加する。

3. 金属製スパイク・セラミック製スパイク、または硬い滑り止めは、靴底からの高さが1.9cm以内のものが使用できる。

(注2)小学生、中学生、一般男子、壮年、実年、シニア、ハイシニア、教員、レディース、エルダー、エルデストは金属製スパイク・セラミック製スパイクの使用を禁止する。

#### 【改正理由】

セラミック製スパイクは金属製スパイクには含まれないが(陶磁器の部類に入る)、金属製スパイク同様に危険性が高いことから、上記(注2)の種別における使用を禁止し、その旨明記した。

### P41~42 3-8項 ユニフォーム及び帽子・バイザー・ヘルメットの宣伝広告表示

#### 【改正点】

3-8項 宣伝広告を表示できる部分に「バイザー」を追加し、(1)(3)(6)の宣伝広告表示の範囲を緩和・拡大した。

### 3-8項 ユニフォーム及び帽子・バイザー・ヘルメットの宣伝広告表示

ユニフォーム及び帽子・バイザー・ヘルメットには、宣伝広告(企業名・商品等)に類するロゴマークを表示することができる。ただし、表示方法は次の通りとする。

(1)ユニフォームに表示できる場所は左胸一箇所、右胸一箇所、背面(ユニフォームナンバーの上)一箇所、左袖二箇所、右袖二箇所、ズボン左右一箇所ずつとし、その大きさは、それぞれ「縦50mm×横120mm」を超えないものとする。

(3)帽子・バイザー・ヘルメットに表示できる場所は左右それぞれ二箇所ずつとし、すべての帽子・バイザー・ヘルメットの同一箇所に表示する。

大きさは、それぞれ「縦50mm×横120mm」を超えないものとする。

(6)チーム名、チームロゴマーク、主催者が定めた大会ロゴマーク、ユニフォーム・帽子・バイザー・ヘルメットの製造メーカー名・ロゴマークについては上記(1)~(5)までの

規定は適用しない。

【改正理由】

2022年度に開幕する「JD.リーグ」より改正要望があり、それに応える形でルール改正を行う。

P45 指名選手 (DP/DESIGNATED PLAYER)

【改正点】

4-5項5の「DPの打撃」を「DPの**打撃・走塁**」に修正する。

5. DPはいつでもFPの守備を兼ねることができる。また、FPはいつでもDPの**打撃・走塁**を兼ねることができる。

【改正理由】

WBSC（世界野球ソフトボール連盟）のルールでは、「**オフense (OFFENSE)**」を兼ねることができるという文言・文章表現となっており、JSAルールにおいても、実際のルールの運用においては、FPがDPに代わって打席に入り、**打撃**を行うことやFPが塁上の走者となっているDPに代わって**走塁**を行うことを認めていることから、ルールの解釈、実際の運用に合わせる形で、従前の「打撃」となっていた部分を**打撃・走塁**の文言に修正を行う。

P54 5-3項5 サスペンデッドゲーム

【改正点】

5-3項5. サスペンデッドゲームの条文の冒頭、「引き分け試合か無効試合の場合は、」の文章表現を、「引き分け試合か無効試合の場合**のみ**」に修正。

5. サスペンデッドゲーム

引き分け試合か無効試合の場合**のみ**一時停止試合（サスペンデッドゲーム）を大会要項により採用することができる。

サスペンデッドゲームを採用した場合、一時停止したその場面から、試合を再開する。

【改正理由】

現行ルールでは、サスペンデッドゲームは、大会要項に明記の上、試合が成立していない状況、もしくは試合が成立する状況であっても同点で試合の決着がつかない場合に限り、採用できるとルールにより定められている。

しかし、実際の運用では、試合が成立している状況にありながら、サスペンデッドゲームを採用したような事例が報告されている。これは野球ではそれぞれの加盟団体や組織によってサスペンデッドゲームの採用基準が様々で、混同されているようなケースが考えられるので、「のみ」の文言を追加することで、サスペンデッドゲームの適用、採用に関する規定を再確認してもらう意味を含め、修正を行うものである。

#### P96 R8-6項 走者がアウトになる場合

##### 【改正点】

ルール適用の内容及びその〈効果〉が、「ボールインプレイ中に適用される項目」と「ボールインプレイ中、ボールデッド中、どちらにも適用される項目」が混在していたため、内容によって整理し、ひとまとめになっていた〈効果〉を状況・適用に応じて2つに分けて記載した。

現行 8-6項5. → 8-6項7. に移動  
8-6項6. → 8-6項5. に移動  
8-6項7. → 8-6項8. に移動  
8-6項8. → 8-6項6. に移動

また、現行8-6項〈効果〉1~8を〈効果〉1~6、と〈効果〉7~8の2つに分け、表記した。

5. 走者がタッチアップするとき、塁の後方からランニングスタートしたとき。

(※現行8-6項6を5に移動。条文記載内容に変更なし。掲載場所の移動のみ)

6. 走者が塁を離れ、進塁する意思を明らかに放棄してベンチに入ったり、競技場外に出たとき。

(※現行8-6項8を6に移動。条文記載内容に変更なし。掲載場所の移動のみ)

〈効果〉1~6

(1) ボールインプレイ

(2) その走者はアウトになる。

7. ボールインプレイ中、ボールデッド中にかかわらず、他の走者以外の者が走者の身体に触れ、走塁を援助したとき。

(※現行8-6項5を7に移動。条文記載内容に変更なし。掲載場所の移動のみ)

8. 後位の走者がアウトになっていない前位の走者を追い越したとき。

(注) 走者が安全進塁権を与えられ、進塁しているときも、追い越しアウトは適用される。

(現行 8-6 項 7 を 8 に移動。条文記載内容に変更なし。掲載場所の移動のみ)

〈効果〉 7～8

ボールインプレイ中、ボールデッド中にかかわらず、その走者はアウトになる。

【改正理由】

現行 8-6 項 5 は、「5. ボールインプレイ中、ボールデッド中にかかわらず、他の走者以外の者が走者の身体に触れ、走塁を援助したとき」とボールインプレイ中、ボールデッド中の両方が想定されたものであり、また、8-6 項 7 は、「7. 後位の走者がアウトになっていない前位の走者を追い越したとき」の後に(注)として「走者が安全進塁権を与えられ、進塁しているときも、追い越しアウトは適用される」と、安全進塁権を与えられる状況、すなわちボールデッド中のことに言及しているにもかかわらず、その〈効果〉は 8-6 項 1 から 8-6 項 8 までをひとまとめとし、

〈効果〉 1～8

(1) ボールインプレイ

(2) その走者はアウトになる。とされてしまっていた。

そのため、現行の 8-6 項 5～8-6 項 8 までを上記の通り、項番、掲載順を変更。〈効果〉 1～6 に修正し、〈効果〉 7～8 を新設することで、その「矛盾」を解消した。

P121 12-9 項 プットアウト (刺殺)

【改正点】

12-9 項 3、各塁での離塁アウトについて、現行「各塁手」にプットアウトを記録・記帳していたものを、「最も近い野手」に変更する。

3. 各塁での離塁アウトは、最も近い野手にプットアウトが記録される。

【改正理由】

2020 年 2 月 1 日に改訂・発行した「スコアリングマニュアル」第 4 版ですでに変更済みの内容がルールブックからは修正が漏れていたため、今回、実際の記録・記帳に合わせ、修正を行う。

2022年オフィシャルソフトボール ルール改正

(公財)日本ソフトボール協会 記録委員会

21年頁	項	2021年オフィシャル ルール	22年頁	項	2022年オフィシャル ルール
121	12-9-3	各塁での離塁アウトは、各塁手にプットアウトが記録される	121	12-9-3	走者に離塁アウトが宣告されたときは、最も近い野手にプットアウトを記録する。

2022年オフィシャルソフトボール 競技者必携(記録の部)改正

(公財)日本ソフトボール協会 記録委員会

21年頁	項	2021年 競技者必携	22年頁	項	2022年 競技者必携
130	公式記録員規定 第6条 2	その年度の <u>ワッペン</u> が交付される	132	公式記録員規定 第6条 2	その年度の <u>登録カード</u> が交付される
131	” 第6条 3	その年度の <u>ワッペン</u> を携帯しなければ	133	” 第6条 3	その年度の <u>登録カード</u> を携帯しなければ
135	公式記録員手引き 1-(6)-②	スコアカード、鉛筆またはシャープペンシル(黒、B～2B)、消しゴム、定規、時計、 <u>鉛筆けずり</u> 、 <u>集計用電卓</u>	137	公式記録員手引き 1-(6)-②	スコアカード、鉛筆またはシャープペンシル(B～2B)、消しゴム、定規、時計、…
144	公式記録員手引 3-(2)-1)	正規の服装で( <u>ワッペン</u> を忘れないこと)	146	公式記録員手引 3-(2)-1)	正規の服装で( <u>登録カード</u> を忘れないこと)
144	公式記録員手引 3-(2)-2)	持参するものは…… スコアリングマニュアル・鉛筆、定規、 <u>小型電卓</u> 、集計用紙	146	公式記録員手引 3-(2)-2)	持参するものは…… スコアリングマニュアル・鉛筆、定規、集計用紙
150	記録3号	〇〇年連続 〇〇 <u>度</u> 目の優勝	152	記録3号	〇〇年連続 〇〇 <u>回</u> 目の優勝

スコアリングマニュアルv4 正誤表

令和4年2月11日

No.	頁	項・節	訂正前	訂正後
1	108	事例22-3	Q 一死一塁。2番打者の打順で3番打者が打席に入り三塁ゴロを打った。	Q 無死一塁。2番打者の打順で3番打者が打席に入り三塁ゴロを打った。
2	巻末	記帳要領 後攻	※検算を行う 打席数=打数+犠牲打+四球+故意四球+死球+打撃(一塁への出塁)妨害	※検算を行う 打席数=打数+犠牲打+四球+故意四球+死球+打撃(一塁への走塁)妨害
3	28	解説編 (2)㊦	打者が投手の面足が投手板に触れた後、反対側の打者席に移ってアウトが宣告されたとき。	打者が投手の軸足が投手板に触れた後、反対側の打者席に移ってアウトが宣告されたとき。
4	5	守備位置について	スキンド インフィールド (内野想定線)	グラスライン (内野想定線)

先頭打者は右翼越え二塁打を打った。

次打者はフライを打ち上たが投手が落球。すぐに投手自身がボールを拾い一塁へ送球し打者走者をアウトにした（記録上は失策無し）。

二三塁間にいる二塁走者は落球を見て三塁へ進塁（打者はアウトになっているので失策による進塁ではなく、記録上は打撃による進塁とした）し、そのままの流れで本塁に向かい得点した。

この時すでに大量得点を取られていた守備側は本塁への対応（緩慢ブレイと見て取れる）もしなかったもので、盗塁による得点とした。これでよいか？

記帳事例

1	○ ○ ○	(2) ↓ ● S' 9
2	○ ○ ○	1-3 I
3	○ ○ ○	(5)(4) l B
4	○	(5) l D
5		5-3 II
6	○ ○	KS III

記帳回答

1	○ ○ ○	1E 9	落球
2	○ ○ ○	1-3 I	
3	○ ○ ○	(5)(4) l B	
4	○	(5) l D	
5		5-3 II	
6	○ ○	KS III	

解説

投手が落球しても一塁に送球して打者走者をアウトにしているため、投手の失策は記録しないが、その落球がなければ二塁走者は進塁出来ないため、二塁からの進塁はフライ落球による失策とする。2番打者の所にはフライ記号と引き出しメモ「落球」を残すと良い。

参考：スコアリングマニュアル事例編、P60の事例14-3

### 事例 14-3

**Q** 無死満塁。4番打者は二塁へフライを打ち上げ、インフィールドフライが宣告されたが、二塁手はこれを落球してしまった。各走者は走ったが、二塁手はすぐボールを拾い、遊撃手に送球して一塁走者をタッチアウトにした。この間に、三塁走者は生還し、二塁走者も三塁に進塁した。各走者は二塁手の落球(失策)による進塁としてよいか。

**A** フライを落球しても、ただちに塁へ送球して走者をタッチアウトすれば、二塁手の失策は記録しない。ただし、二塁走者・三塁走者の進塁は落球による選択守備の結果で進塁したとする。また、この失点は自責点である。なお、ダブルプレイも合わせて記録する。(事例14-3 ①)  
 ただし、すべての走者がアウトになることなく進塁したときは、失策による進塁とする。(事例14-3 ②)  
 また、一部の走者しか進塁しなくても、失策による進塁とする。(事例14-3 ③)

事例 14-3 ①

		(3) (2)
1	(※)	● 5・6
2	(※) (3)	△ 6
DP {	⋮	4-6 II TO
	3	B
		※IF4 落球
4		I

事例 14-3 ②

		(3) (2)
1	※4E	○ 5・6
2	(※) (3)	△ 6
DP {	⋮	(※)
	3	B
		※IF4 落球
4		I

事例 14-3 ③

		(3) (2)
1	※4E	○ 5・6
2	(※) (3)	△ 6
DP {	⋮	
	3	B
		※IF4 落球
4		I



## スコアカードの点検に関する留意点

スコアカードの点検は手順を決め、短時間で終わるよう、要領よく行う必要があります。

◎スコアカードの点検は、次の順番で点検を行います。

ボックス → 交代 → 集計 → その他

### 【I】ボックスの点検例

#### 1 犠牲打

- 1-1 犠牲打のつけ忘れ。特に犠打失策、犠打野選の場合。
- 1-2 二死後のバントは犠牲打にならない。
- 1-3 外野飛球での二進、三進は犠牲飛球にならない。
- 1-4 内野飛球での捕球後場外は犠牲飛球、打点とにならない。
- 1-5 オーバースライドアウトは犠牲バントを記録する。
- 1-6 バントで送られた走者が封殺されず失策で生きした場合、犠牲打を記録しない。

#### 2 塁打数

- 2-1 先行走者がアウトになった場合の塁打数。
- 2-2 塁の空過によりアピールアウトになった場合の塁打数。
- 2-3 サヨナラの場合の塁打数。
- 2-4 打者走者がオーバースライドの場合は塁を得たことにならない。

#### 3 盗塁

- 3-1 盗塁を阻止しようとした捕手の悪送球。
- 3-2 重盗の一方を(DS)と括弧をつけてしまった。
- 3-3 重盗の見落とし、つけ忘れ。'S と '(2-6) など。
- 3-4 重盗を試みたが盗塁死した場合、もう一方は盗塁とにならない。注:同時プレイの場合
- 3-5 四球後の盗塁のつけ忘れ。

#### 4 アウトにした走者

- 4-1 アウトにした走者と残塁走者の間違い。(例) 6ⅡB/Ⅲ

#### 5 ディフレクト記帳の誤り

#### 6 併殺

- 6-1 併殺箇所の記事誤り。
- 6-2 併殺記号(DP)のつけ忘れ。
- 6-3 「併殺崩れ」の送球ミスが失策とにならない場合。

#### 7 打撃妨害・走塁妨害

##### 打撃妨害

- 7-1 打撃妨害△2Eの失策記録のつけ忘れ。
- 7-2 打撃妨害を▲2Eとしてしまう間違い。

##### 走塁妨害

- 7-3 ランダウンプレイでない走塁妨害には失策を記録しない。

- 8 打点
- 8-1 併殺時に打点が見つからない場合と打点が見つかる場合
- 8-2 失策があったときの打点には要注意。
- 9 離塁アウト
- 9-1 離塁アウトの刺殺野手記号つけ忘れ。
- 9-2 離塁アウトの投球取り消し忘れ。
- 9-3 離塁アウトの刺殺野手記号の間違い。  
(アウトのコールがあった時、走者に最も近い野手に与える)
- 10 ゴロ記号
- 10-1 ゴロ記号は記入しない。
- 11 進塁させた打者の打順
- 12 安打となる場合
- 安打の記録
- 12-1 走者の進塁があった場合に、安打を記録していない誤り。
- 12-2 サヨナラの場合では野手選択とせず、安打を記録する。
- 外野への打球
- 12-3 外野へのゴロ封殺アウトで安打記録の誤り。
- 12-4 外野へのゴロで生きた場合、外野手の送球失策とならない。 ×9E-3 → /9
- 12-5 外野へのゴロを送球し、塁で落球すると安打は記録しない。 9-3E
- 13 アウトの順序
- 14 進塁放棄
- 14-1 進塁放棄の記帳(打者走者が一塁に生きた後に放棄)。 3TO
- 14-2 進塁放棄の記帳(打者走者が一塁に達する前に放棄)。 ▲2
- 15 暴投・捕逸
- 15-1 暴投や捕逸がおきた時、複数の走者がいた場合の( )つけ忘れ。
- 15-2 三振振り逃げの新しい記帳法 K S K L  
WP P B
- 16 メモがついているようなところは、間違えている場合がある。
- 17 改正前の記帳法での記帳の誤り(ゴロ記号、タイブレーク走者…)
- 18 自責点
- 自責点・非自責点となる場合をしっかりと把握しましょう。
- 18-1 そのイニングに失策・捕逸がなければ、失点は全て自責点
- 18-2 失策や振り逃げ暴投・振り逃げ捕逸で出塁した、または置き換わった走者。
- 18-3 打撃時間の延長。
- 18-4 アウトの守備機会。
- 18-5 アウトの守備機会とならない失策。
- 18-6 自責点の復活…安打・四死球・故意四球・暴投・不正投球。(あじわい)
- 18-7 投手交代時の塁上の走者。

## 【Ⅱ】交代

自チームのシート欄、ボックス欄と相手チームの交代の記録欄を連動させる。  
特にDP、FPの兼務、再出場に要注意。

### 19 ボックスの縦波線、# UNの有無

19-1 代打、代打再出場での出場とその後の打席。

19-2 守備交代からの出場後の打席。

### 20 交代の記帳欄(交代メモ)

20-1 同じ打順での選手交代と守備位置交代がある場合。例：(7)－(8) # UN

20-2 DPの代打・代走で出場した後の交代の記帳欄。

20-3 DPの守備兼務、兼務解除。 例：(DP)－(1)、(1)－(DP)

20-4 FPのDP兼務、兼務解除の記帳はしない。

### 21 位置欄(シート欄)の記帳

21-1 再出場時の位置欄の記帳

21-2 DPの交代時 例：HDP、RDP 等。

21-3 FPのDP兼務時、欄外へのFP記入。

## 【Ⅲ】集計

### 22 縦集計

22-1 離塁アウトの投球は取り消す。故意四球の投球数は実際に投球した数。

22-2 投手が交代した時の投球数。

22-3 失策のつけ忘れ

### 23 横集計

23-1 同じ打順に複数の選手がいる場合・・・特に得点、残塁の集計欄。

23-2 代走、テンポラリーランナーの打席数に0を記入。

23-3 打撃妨害、一塁への走塁妨害の横集計。

21-4 三振(振り逃げ三振を含む)・盗塁・打点の集計もれはないか。

### 24 検算が合っているか

24-1 打席数＝打数＋犠牲打＋四球＋故意四球＋死球＋打撃(一塁への出塁)妨害

24-2 打席数＝得点＋残塁＋相手チーム刺殺数(－タイブレーク走者)

### 25 投手成績集計

25-1 投手の投球回数

25-2 投手の失点・自責点

特に、投手交代があった場合の、投球回数、失点、自責点、投球数、勝敗に注意

25-3 奪三振・与四死球の記録(打者・投手)

25-4 投球数(離塁アウト、故意四球、離れた打順)

25-5 勝利投手・敗戦投手

勝利投手・敗戦投手について先攻・後攻を逆に記入していないか。

勝利投手は先発投手の投球回数に注意。

### 26 補殺・刺殺・失策集計

26-1 補殺・刺殺 例：失策を伴う場合 5－3E、一連の送球での補殺 8-2-5TO

26-2 FPがDPの打席に入る場合、DPの打順に守備集計をせず、FP欄に集約しても良い

#### 【IV】その他

- 27 選手名・チーム名の誤り(漢字の間違いを含み)はないか。
- 28 イニングスコア欄。得点経過に誤りはないか。
- 29 試合時間の計算間違いはないか。
- 30 記帳もれ(選手名・UN)や、斜線(/)の未記入はないか。
- 31 捕逸欄、併殺欄の先攻・後攻を逆に記入していないか。

# スコアカードの点検に関する留意点

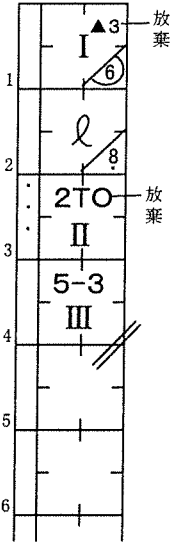
## 問題

次のボックスの点検を行ってください

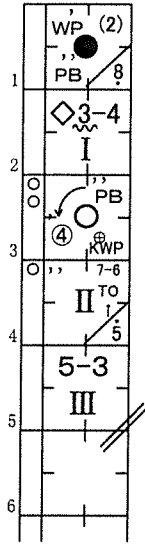
<p>1-1</p>	<p>1-2</p>	<p>1-3</p>	<p>1-4</p>	<p>1-5</p>
<p>1-6</p>	<p>2-1</p>	<p>2-2</p>	<p>2-3 7回裏 0-0</p>	<p>2-4 8回裏 3-2</p>
<p>3-1</p>	<p>3-2</p>	<p>3-3</p>	<p>3-4</p>	<p>3-5</p>



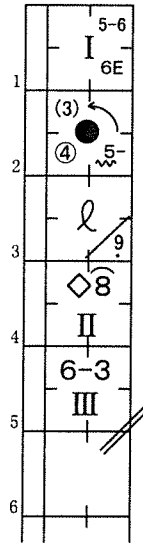
14-1~2



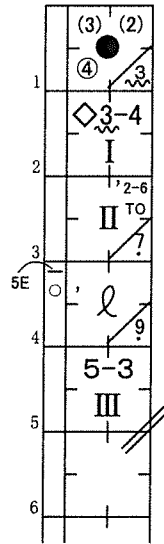
15-1~2



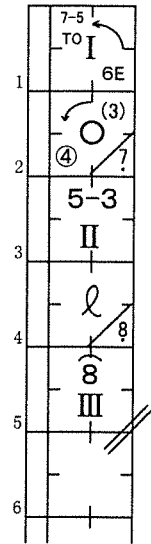
18-2



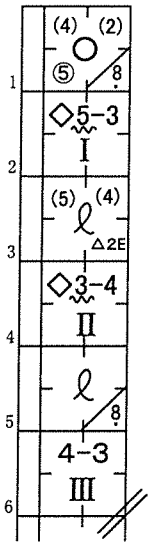
18-3



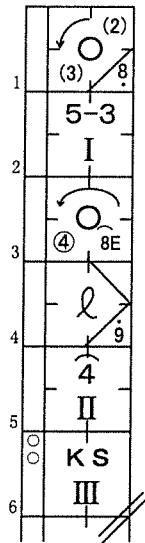
18-4



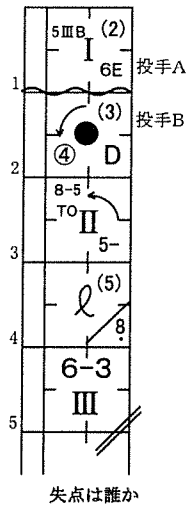
18-5



18-6



18-7



# スコアカードの点検に関する留意点

## 問題

### 交代の点検事例

#### 19 ボックスの縦波線、#UNの有無

位置 (先攻)			No.	1	2	3	4	5	6	7
③ R	品川 咲良	3		H			#3	5-3		
H	目黒 凜	12						II		
		8								

(後攻の交代記帳欄)

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

#### 20-1 同打順での選手交代と守備位置交代がある場合

(先攻)			1	2	3	4	5	6	7
③	品川 咲良	3							
1	目黒 凜	12							
		8							
① 3	渋谷 結菜	10							
		9							

(後攻の交代記帳欄)

		(1) #12 (3) #10		③ #3 ① #10					
--	--	--------------------	--	---------------	--	--	--	--	--

#### 20-3 DPの守備兼務、兼務解除

(先攻)			1	2	3	4	5	6	7
3 OP 3	品川 咲良	3				5			
		8				I			
DP(H) DP	渋谷 結菜	10			H	○	KS	(H)	
H	目黒 凜	12				○	II		
		9							

(後攻の交代記帳欄)

		(3)-(OP) (DP)-(DP3)		(OP)-(3) (DP) #12		(DP) #10			
--	--	------------------------	--	----------------------	--	----------	--	--	--

#### 20-3 DPの守備兼務、兼務解除(FPの再出場がある場合)

(先攻)			1	2	3	4	5	6	7
DP1DP	品川 咲良	3							
		9							
①	渋谷 結菜	10							
		(FP)							

(後攻の交代記帳欄)

		(DP)-(1)		(DP1)-(DP) ① #10					
--	--	----------	--	---------------------	--	--	--	--	--



20-4 FPのDP兼務、兼務解除(DPのFP以外の守備兼務)

(先攻)			1	2	3	4	5	6	7
3OP	目黒 凜	12		6			8		
		7		I			II		
FP	DP1 23 品川 咲良	3	H	5-3		#3	TR		
	HI 渋谷 結菜	10		II			I B		
	TR 目黒 凜	12							
		8							
2 OP 2	神田 綾花	5		1-3			4-3		
				III			III		
		9							
①	渋谷 結菜	10							
	(FP)								

(後攻の交代記帳欄)

	(1)-(1DP)	DP1 #3	(DP2) #3	(DP3) #3	② #5
--	-----------	--------	----------	----------	------

21-2 DPの交代時の位置欄の記帳(先発DPの再出場がある場合)

(先攻)			1	2	3	4	5	6	7
DP	品川 咲良	3		H	F 5		DP	○	K L
H	目黒 凜	12			I		○	○	II
		9							

(後攻の交代記帳欄)

						DP #3
--	--	--	--	--	--	-------

2022年

## 令和3年度中央研修会 点検問題

次の大会情報、打順表、試合メモ等を参考にして記帳・集計をしてスコアカードを完成させて下さい。

### 1 大会情報

大会名 令和3年度 中央研修会 点検問題  
試合日 試合日は、本日の日付として下さい  
会場 本日の勉強会会場として下さい  
天候 晴れ  
受験番号 指定された受験番号を記入する  
受験者名 受験者氏名を記入する

### 2 打順表 (ラインアップカード)

先攻 黒崎ティーンズ				後攻 富士ウィナーズ			
順	位置	選手名	UN	順	位置	選手名	UN
1	4	今橋この実	10	1	4	亀田 菜里	24
2	8	田中 優佳	8	2	7	山田 柚葵	25
3	7	佐伯 瞳	13	3	9	長谷部陽香	44
4	DP	石橋 美奈	17	6	3	須藤麻理子	49
5	6	辻 楓	37	5	6	角野 杏	3
6	3	鎌塚 玲美	35	6	2	安川 裕美	10
7	5	森 香央理	25	7	8	阿部 里奈	6
8	9	佐々木萌莉	1	8	DP	木原菜々子	16
9	2	日吉 里香	7	9	5	宮本 怜実	9
FP	1	佐保 知里	18	FP	1	中山日菜子	47
控選手		浜田 智美	2	控選手		宮城紀代恵	1
		川崎 麻央	3			高田 紗知	8
		松山 りえ	6			石川 恵美	18
		倉吉 梨穂	5			出水 智子	17



